

FUJITSU Software
ServerView Infrastructure Manager V2.2
ノード設定詳細

2018 年 3 月
 富士通株式会社

改版履歴		
版数	提供年月	変更内容
01	2017 年 12 月	新規作成
02	2018 年 3 月	1. 接続情報 に管理対象ノード : PRIMERGY BX LAN パススルーブレードの情報を追加 2. 管理のために必要な設定 : PRIMERGY の情報を追加 3. 通知のために必要な設定 : トラップ通知受信設定でエンジン ID が自動的に入力される対象機器 の一覧および注釈を追加

ServerView Infrastructure Manager V2.2(以下、“ISM2.2”と略す)でノードを管理するためには、ノード側で接続情報を設定する必要があります。本書は設定に必要な接続情報を提供します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.2 ユーザーズマニュアル
- ・ FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.2 用語集

1. 接続情報

ノードと接続するには、ノード登録を行う前にノード側で以下の設定が必要です。設定方法については、それぞれの装置のマニュアルを参照してください。 ○：必須、-：不要

ノード	接続情報		
	IPMI の アカウント(※1)/ パスワード	SSH の アカウント/ パスワード	SNMP の必須入力情報 (※2)
PRIMERGY(RX/CX)	○	-	-
PRIMEQUEST 2000Type3	○	○	○
PRIMEQUEST 3000E	○	○	○
PRIMEQUEST 3000B	○	-	-
ETERNUS DX/AF	-	○	○
ETERNUS NR	-	○	○
SR-X	-	○	○
イーサネットスイッチ (10GBASE-T 48+6) イーサネットスイッチ (10GBASE 48+6)	-	○	○
Brocade VDX	-	○	○
Brocade FC スイッチ	-	○	○
Cisco Catalyst	-	○	○
Cisco Nexus	-	○	○
PRIMERGY BX シャーシ (MMB)	-	○	○
PRIMERGY BX サーバブレード	○	-	-
PRIMERGY BX スイッチブレード (1Gbps/10Gbps)	-	○	○
PRIMERGY BX LAN パススルーブレード	-	-	-(※3)
PRIMERGY BX FC スイッチブレード	-	○	○
PRIMERGY スイッチブレ ード / コンバージドファブ リックスイッチブレード (10Gbps 18/8+2)	-	○	○
CFX2000F/R	-	○	○
AsetekRackCDU	-	-	○
SchneiderElectric Metered RackMountPDU	-	-	○
SchneiderElectric Smart-UPS	-	-	○

動作確認済みのモデルについては、当社の本製品 Web サイトで「管理対象機器一覧」を参照してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/environment/>

(※1) アクセス権限が Administrator、または OEM を持つアカウントをご使用ください。

(※2) SNMP v1 または v2 の場合は、コミュニティ名の入力が必要で、SNMP v3 の場合は、ユーザー名、セキュリティレベル、認証プロトコル(認証使用時)、認証パスワード(認証使用時)、暗号化プロトコル(暗号化使用時)、

暗号化パスワード(暗号化使用時)の入力が必須です。

(※3) シャーシ(MMB)の接続情報設定が必要となります。

2. 管理のために必要な設定

接続情報の設定に加えて、以下の設定を行ってください。

【PRIMERGY】

- ・ PRIMERGY S8/M1/M2/M3 世代のサーバにて iRMC S4 ファームウェアの版数が 9.00 以上をご使用の場合、ISM のノード詳細の SAS カードについての情報を取得するためには、iRMC の Web UI の IPMI 権限/許可の変更が必要です。変更は以下のように行います。

[ユーザ管理] - [iRMC S4 ユーザ管理] - [IPMI 権限/許可] - [Redfish Enabled] をチェック。

[ユーザ管理] - [iRMC S4 ユーザ管理] - [IPMI 権限/許可] - [Redfish Role] を Administrator に変更。

【SR-X】

- ・ LLDP 設定を有効にしてください。

【Brocade VDX】

- ・ LLDP 設定を有効にしてください。

【ETERNUS DX/AF】

- ・ ISM と接続するためのポートとしては、Control Module のメンテナンスポートをご使用ください。(リモートポートに接続した場合、ファームウェアアップデート機能、ログ収集機能、およびプロファイル適用機能が動作しない場合があります。)

【PRIMEQUEST 2000 Type3、PRIMEQUEST 3000E】

- ・ ISM の MMB のアカウント設定(IPMI 接続のアカウント設定)では、PRIMEQUEST の Web UI の [Network Configuration]-[Remote Server Management] に登録したアカウントをご使用ください。
- ・ ISM の SSH のアカウント設定では、PRIMEQUEST の Web UI の [User Administration]-[User List] に登録したアカウントをご使用ください。その際 Privilege は Admin または CE である必要があります。

【PRIMERGY BX】

- ・ スイッチブレード: LLDP 設定を有効にしてください。
- ・ ファイバーチャネルスイッチブレード: SW-MIB を有効にしてください。

実行例)

```
snmpconfig --enable mibCapability -mib_name SW-MIB
```

- ・ シャーシの電源が OFF の場合、MMB から情報が取得できません。それにより、サーバブレード、コネクシオンブレードとの関係性が一時的に解除されて見えます。電源が ON 状態になってからシャーシを選択し、[アクション]-[ノード情報取得]の操作を実施してください。

3. 通知のために必要な設定

接続情報 および、管理のために必要な情報の設定に加えて、SNMP トラップの設定を行ってください。
詳細については各機器のマニュアルを参照してください。

なお、以下の機器では ISM のトラップ通知受信設定で対象ノードを選択した際に、エンジン ID が自動的に入力されます。

対応機器

○：対応、-：非対応

ノード	エンジン ID の自動入力
PRIMERGY(RX/CX)	○
PRIMEQUEST 2000Type3	-
PRIMEQUEST 3000E	○
PRIMEQUEST 3000B	○
ETERNUS DX/AF	○
ETERNUS NR	-
SR-X	○ (※1)
イーサネットスイッチ (10GBASE-T 48+6)	○
イーサネットスイッチ (10GBASE 48+6)	
Brocade VDX	○
Brocade FC スイッチ	○
Cisco Catalyst	○
Cisco Nexus	○
PRIMERGY BX シャーシ (MMB)	-
PRIMERGY BX サーバブレード	○
PRIMERGY BX スイッチブレード(1Gbps/10Gbps)	○ (※1)
PRIMERGY BX LAN パススルーブレード	-
PRIMERGY BX FC スイッチブレード	○
PRIMERGY スイッチブレード / コンバージドファブリック スイッチブレード(10Gbps 18/8+2)	○ (※1)(※2)
CFX2000F/R	○ (※1)(※2)
AsetekRackCDU	-
SchneiderElectricMetered RackMountPDU	-
SchneiderElectricSmart-UPS	-

(※1) 以下の機器に対して SNMP v3 engine ID を設定しない場合、ISM のトラップ通知受信設定で対象ノードを選択した際に、エンジン ID が自動的に入力されません。

自動的に入力されるようにするには、機器に対して事前に snmpv3 engine ID を設定してください。

- PRIMERGY BX スイッチブレード(10Gbps)

- PRIMERGY スイッチブレード / コンバージドファブリックスイッチブレード(10Gbps 18/8+2)
- CFX2000F/R
- SR-X

(※2) ファブリックを組み、かつ、機器に対して **SNMP v3 engine ID** を設定している場合、ファブリック全体で **engine ID** を同じ値に設定してください。

以上